

群馬大学工業会
各支部長様

三重支部長 阿部桂三

群馬大学 窪田恵一先生の講演会のお知らせ

梅も満開となり、桜の季節もうすぐですね。

日頃は、三重支部活動にもご協力いただき有難うございます。

既に一部の方にはご連絡させていただいておりますが、下記のとおり 4 月 13 日に恒例の「2025 年度三重支部総会」を開催し、その際同時に「群馬大学窪田恵一先生」を現地（四日市市会場）にお招きして、下記のとおり講演会をハイブリッド方式で開催いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、是非とも遠方の方にもオンライン（ZOOM）でのご参加をお願い致します。

記

講演日時：2025 年 4 月 13 日（日） 14：30～15：30（予定）

場所：「四日市市なや学習センター」（通称「なやプラザ」）第 1 会議室（2F）

住所：四日市市蔵町 4-17（TEL059-357-1370）（JR 四日市駅から徒歩 7 分）

演者：群馬大学大学院理工学府環境創成部門助教 窪田恵一先生

題名：「堆積微生物を活用した環境改善」（仮題）

要旨：添付資料参照

方式：ハイブリッド方式（ZOOM）、及び現地会場（先生、会場来場）

懇談会：講演後に先生を囲んで懇談会（食事会）を予定しています。

会場は、近鉄四日市駅周辺のレストラン（16：30～1 時間半程度）

申 込：4 月 7 日（月）までに、事務局 佐野副支部長までメールにて

（阿部宛メール、電話でも可）お申込みください。

ZOOM 参加希望の方には、別途招待メールアドレスを送付いたします。

なお、その時同時に懇親会参加希望についてもご連絡ください。

佐野武司メールアドレス：sano14takeshi@gmail.com

阿部桂三メールアドレス：abe.5259@m5.cty-net.ne.jp（TEL090-9962-0792）

備考：当日は、同会場にて「2025 年度三重支部総会」（13：00 開場、13：30 開始）を開催します。

議題：東海連合支部・三重支部活動報告、会計報告、行事計画、役員改選他。

お時間の許す方のご参加を

お待ちしております。

添付資料:

「窪田恵一先生、堆積物微生物を
活用した環境改善のお話」

会場：「なやプラザ」の地図（右図）

右上の風船印

左下に JR 四日市駅



2025 年度三重支部総会 記念講演

群馬大学 窪田恵一先生、堆積物微生物を活用した環境改善のお話

現在、群馬大学と国立環境研究所の共同による最新研究の紹介です。

「生物電気化学」分野の研究であり、題名は我々素人には難解であるが、我々にとって大変身近な湖沼や海洋中のヘドロ堆積物の微生物を利用し、**底質の汚濁物**

質や環境悪影響の有害ガス発生（硫化水素等）を「堆積物微生物燃料電池」（SMFC）の技術により電気エネルギーに変換しながら環境改善を行う画期的なお話です。

既に東京湾のヘドロに対する実証実験にて硫化水素発生量を 8～9 割程度減少させた実績が得られている。微生物の「生物電気化学」発電の難しいお話を、分かり易く紹介していただきます。沢山の方の参加をお待ちしています。

日時：2025 年 4 月 13 日（日）総会第二部 講演の部 14：30～15：30（Q&A 含む）

会場：四日市市「なやプラザ」第一会議室（四日市市蔵町 4-17）JR 四日市駅歩 7 分

オンライン参加者は 3 月 29 日（土）までの申込ください。招待メールアドレスを送付します。

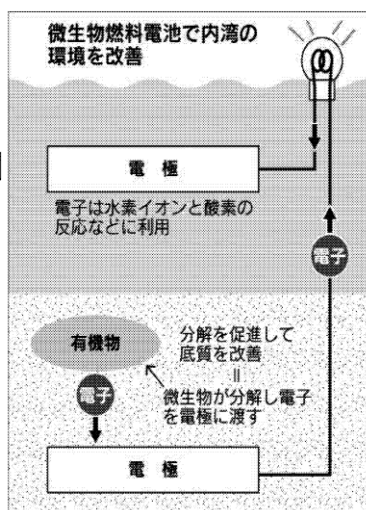
申込先：三重支部事務局 佐野武司（メール：sano14takeshi@gmail.com、Tel090-8773-9127）

問合先：三重支部長 阿部桂三（メール：abe5259@m5.cty-net.ne.jp、Tel:090-9962-0792）

窪田先生略歴：長岡技術大学大学院卒 博士（工学）、現在 群馬大学 理工学府環境創生部門助教



内湾のヘドロ退治
「微生物燃料電池」を応用
E 間
群馬大と国環研



群馬大学と国立環境研究所のグループは、微生物を利用して有機物を電気エネルギーに変える「微生物燃料電池」を応用し、内湾などの環境を改善する技術を開発した。東京湾での実証試験では、ヘドロから生じる硫化水素の量を 8～9 割減らせた。発生する電気の有効活用も見込める。効果の検証を重ね、実用化につなげたい考えだ。

（日経産業新聞(2016. 11. 9)掲載）



悪臭放つ硫化水素、8割減